

研究課題名	肝胆膵がんに対する予後、合併症に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	肝胆膵がん治療における外科手術治療は抗がん剤治療などが発展してきた現在においても大きな役割を担っています。しかし、肝胆膵がんに対する外科手術治療は大きな手術が多く、手術治療を適切に行っていくには手術そのものの必要性、適応を常に検討する必要があります。当院では基本的にガイドラインに則った治療を行っていますが、それが妥当であるかの検証は必要と考えています。手術治療の成績などを観察研究で評価することは後の治療成績向上において有意義であると考え、本研究を立案しました。
研究対象者	2012 年以降にベルランド総合病院外科で肝胆膵がんに対し手術治療を受けた方。
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、性別、身長、体重、既往疾患、がん診断日、手術の種類、出血量、手術時間、病理組織結果、再発の有無、再発部位、血液検査結果、PS（performance status）、画像検査結果、合併症に関する情報、生存期間 （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます。
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 外科のみで行います。
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 外科 氏名：奥村 哲
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 外科 氏名：奥村 哲 メールアドレス：s_okumura@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）